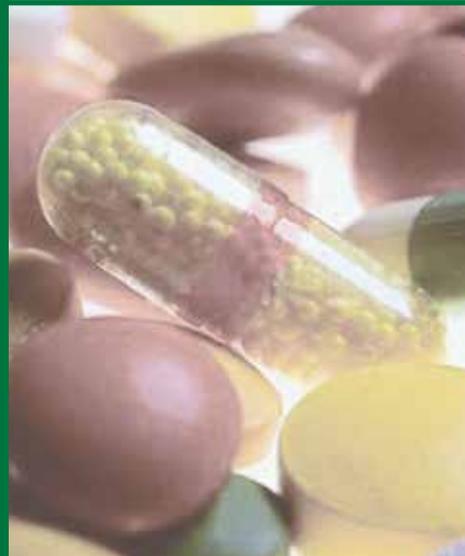


広島大学大学院
医系科学研究科

Hiroshima University
Graduate School of Biomedical and Health Sciences



広島大学





M

edical Sciences (医学)

D

ental Sciences (歯学)

P

harmaceutical Sciences (薬学)

H

ealth Sciences (保健学)

4分野における基盤的研究の深化と分野間の連携・融合

設置の趣旨・必要性

超高齢化社会において患者と病気が共存する状態が増加し、医師・歯科医師による処置や服薬だけでなく、生活指導や運動療法などが一層重要になっており、医療の急速な進歩と医療制度の変化は、看護やリハビリテーションにも大きな影響を及ぼしています。このような社会状況に対応するため、広島大学霞キャンパスでは、医歯薬保健学研究科を設置し、医学・歯学・薬学・保健学分野の学生が同一研究科内で教育・研究を展開、発展させることで、より高度な医療人養成や研究の進歩に繋げてきました。

未来社会の方向性の中で、医学医療や保健学の役割はさらに重要となっていますが、医系科学はその中核をなす医学・歯学・薬学・保健学といった専門領域のみならず、その基礎となる生命・生物系科学や人文社会科学との連携において、持続可能な発展を導く科学の一分野として役割を果たす必要があります。

大学院教育においても、医学・歯学・薬学・保健学のさらなる深化とともに、全てのライフステージに対応し、健康寿命を延伸させる新しい健康・医療・介護システムを構築するための人材が求められており、既存の研究科における教育のさらなる融合や他の研究科との分野横断的なプログラムの提供が必要となっています。

これらの社会からの要請に応えるべき機能強化の必要性や課題をうけて、4分野における基盤的研究の深化とこれら分野間の連携・融合のさらなる強化を図り、医学・歯学・薬学・保健学分野の枠組みを超えて展開するため、2019年4月に「医系科学研究科」を創設しました。

「医系科学研究科」には、研究能力に裏打ちされ、かつ医療系の幅広い知識と学識を有した高度専門医療人としての指導的臨床能力を有した医師、歯科医師、薬剤師又はこれらの枠を超えた先端的生命科学研究に精通した人材を養成することを目的とする「医歯薬学専攻(博士課程)」とQOL(生活の質)向上や健康寿命の延伸に貢献し、多職種連携、地域包括ケアなど新たな医療提供体制において重要な役割を担う健康科学に係る人材を養成することを目的とする「総合健康科学専攻(博士課程前期及び博士課程後期)」の2専攻を設置します。

「医系科学研究科」では、上記の課題や社会的要請に応えるために、従来以上に高度なチーム医療を担うことができる高度専門医療人を養成するとともに、複合領域や新しい領域で活躍でき、「持続可能な発展を導く科学」に貢献できる人材を養成します。

医系科学研究科の改組・再編の概要

改組・再編前

医歯薬保健学研究科

— 博士課程 —

医歯薬学専攻 《入学定員 97名》

- 医学専門プログラム 学位:博士(医学)、博士(学術) <60名>
- 歯学専門プログラム 学位:博士(歯学)、博士(学術) <27名>
- 薬学専門プログラム 学位:博士(薬学)、博士(学術) <3名>
- 放射線医科学専門プログラム 学位:博士(医学)、博士(学術) <7名>

改組なし

— 博士課程前期 —

M 口腔健康科学専攻
《入学定員 12名》
学位:修士(口腔健康科学)

M 薬科学専攻
《入学定員 18名》
学位:修士(薬科学)

M 保健学専攻
《入学定員 34名》
学位:修士(看護学)
修士(保健学)

— 修士課程 —

M 医歯科学専攻
《入学定員 12名》
学位:修士(医科学)
修士(歯科学)
修士(学術)

— 博士課程後期 —

D 口腔健康科学専攻
《入学定員 4名》
学位:博士(口腔健康科学)

D 薬科学専攻
《入学定員 3名》
学位:博士(薬科学)

D 保健学専攻
《入学定員 15名》
学位:博士(看護学)
博士(保健学)

改組

改組・再編後

医系科学研究科

— 博士課程 —

医歯薬学専攻 《入学定員 97名》

- 医学専門プログラム 学位:博士(医学)、博士(学術) <60名>
- 歯学専門プログラム 学位:博士(歯学)、博士(学術) <27名>
- 薬学専門プログラム 学位:博士(薬学)、博士(学術) <3名>
- 放射線医科学専門プログラム 学位:博士(医学)、博士(学術) <7名>

— 博士課程前期 —

M 総合健康科学専攻
《入学定員 76名》

- 保健科学プログラム
学位:修士(看護学)、修士(保健学)
修士(口腔健康科学) <46名>
- 薬科学プログラム
学位:修士(薬科学) <18名>
- 生命医療科学プログラム
学位:修士(医科学)、修士(歯科学)
修士(学術) <5名>
- 公衆衛生学プログラム
学位:修士(公衆衛生学) <5名>
- 医学物理士プログラム
学位:修士(医科学) <2名>

— 博士課程後期 —

D 総合健康科学専攻
《入学定員 25名》

- 保健科学プログラム
学位:博士(看護学)、博士(保健学)
博士(口腔健康科学) <19名>
- 薬科学プログラム
学位:博士(薬科学) <3名>
- 生命医療科学プログラム
学位:博士(医科学)、博士(歯科学)
博士(学術) <3名>

※各プログラムにおける人数は、受入人数の目安を示したものの。

医学・歯学・薬学・保健学 研究分野の連携・融合

医学

歯学



「学際的研究推進部会 (Interdisciplinary Research Section)」は、5つのグループ(①がん・ゲノム医療グループ、②脳・神経科学グループ、③再生・免疫・感染・アレルギーグループ、④老化・高齢者医療・生活習慣病・社会医学グループ、⑤発生・発達・成長期医療グループ)から構成され、本研究科の教授等がいずれかのグループに所属し、新たな研究展開と社会実装を推進する研究活動の基盤整備を担い、学際的研究の推進、協業的研究への発展を目指しています。

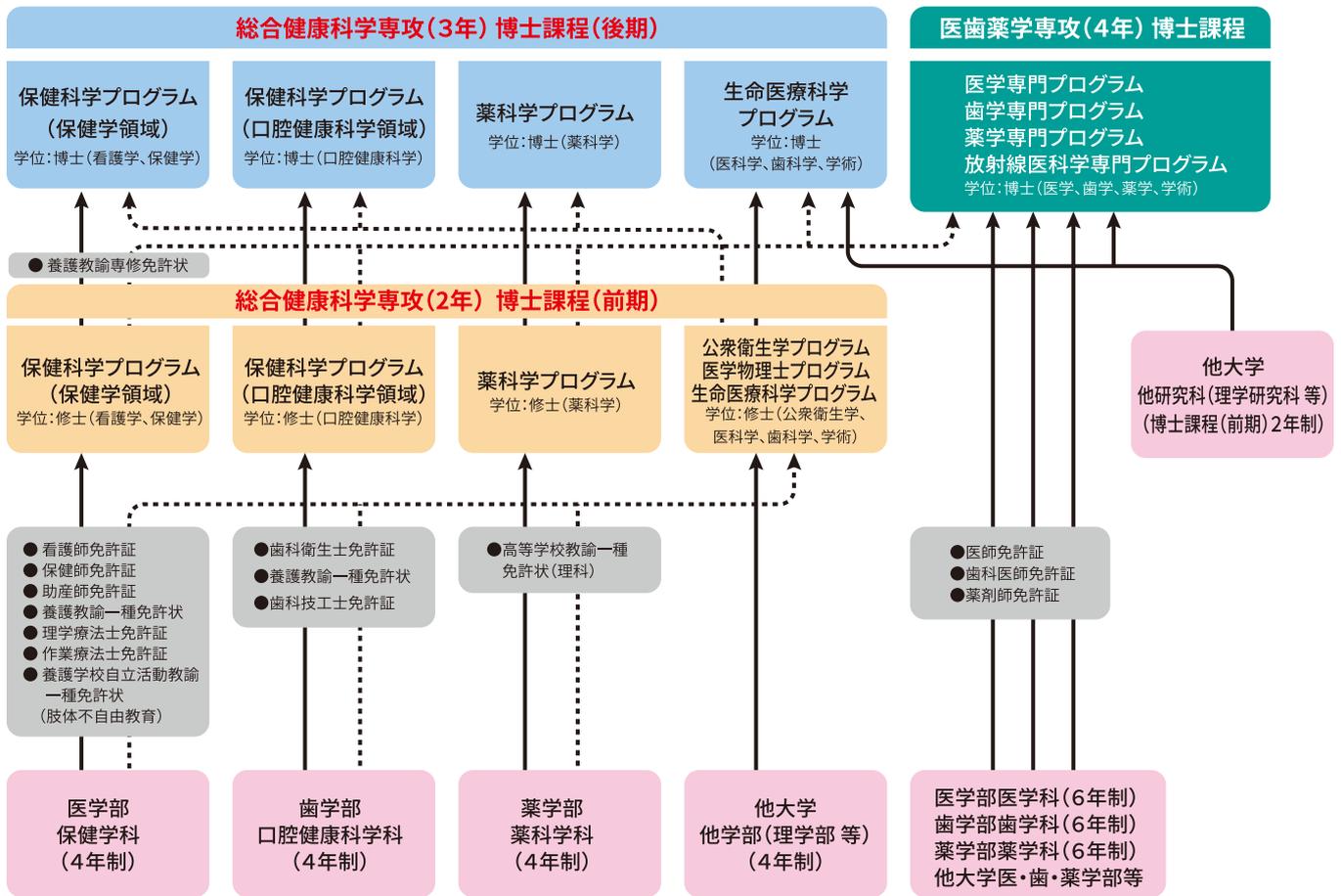
薬学

保健学

医系科学研究科で養成する人材像

専攻等		養成する人材像	
医 歯 薬 学 専 攻	医学専門 プログラム	博士課程 D	医学における幅広い学識と高度な研究能力を有し、学際的・国際的に活躍できる教育者・研究者及び時代の要求に応え、先進的医療技術の開発・応用を担うことができる高度専門医療人を養成する。
	歯学専門 プログラム		歯科医学分野における研究を統合・発展させ、より高度な先進的歯学基礎研究を遂行するとともに、これに基づく応用研究によって高度先進歯科医療を開発し、これを地域社会から国際社会まで広く展開できる人材を養成する。
	薬学専門 プログラム		薬学に関する深い学識及び高い見識を有し、薬学の教育・研究を通じて、我が国の医療薬学及び薬物療法の発展に貢献できる人材、医療を中心とした薬学研究領域で国際的に活躍できる人材を養成する。
	放射線医科学専門 プログラム		放射線の人体影響に関する基礎的研究から臨床放射線医学までの先進的、かつ体系的な教育・研究を実施し、これを地域社会から国際社会まで広く展開できる人材を養成する。
総 合 健 康 科 学 専 攻	保健科学 プログラム	博士課程前 期 M	保健医療及び健康管理の高度化、複雑多様化に対応できる、高度専門的医療人としての看護師、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、歯科技工士の養成、さらに、これらの職種における保健医療施設でのスペシャリスト・指導者、教育研究機関の教育者・研究者を養成する。
		博士課程後 期 D	幅広い基礎的知識及び各領域の高度専門知識を身に付け、保健医療の現場で活躍できる実践家、保健医療施設などの指導者並びに国際的に活躍できる視野のある教育者・研究者を養成する。
	薬科学 プログラム	博士課程前 期 M	革新的な医薬品創製を目指す創薬研究者及び生命薬学研究者として幅広い分野で活躍できる人材を養成する。さらに薬科学の発展と普及を担う教育者・研究者の養成も行う。
		博士課程後 期 D	革新的な医薬品創製を目指す薬科学に関する深い学識及び高い見識を有し、薬科学の教育・研究を通じて我が国の創薬科学及び生命薬科学の発展に貢献できる人材を養成する。さらに国際的視点に立って創薬科学及び生命薬科学を基盤とした応用研究を展開する人材の養成も行う。
	公衆衛生学 プログラム	博士課程前 期 M	国際基準であるこれら5分野の教育を体系的に行う学位プログラムを設置し、科学的根拠に基づく医療を評価・実践できる医療従事者や政策の評価・企画立案を担う行政担当者、国際保健に貢献できる人材の養成を行う。
	医学物理士 プログラム	博士課程前 期 M	医学物理学分野の高度専門職業人として、病院、その他の保健医療施設において、高度化、多様化する医学、歯学、保健学等の進歩に対応できる医学物理士等の医療者、技術者及び各種教育機関において医学物理学の普及を担う教育者・研究者並びに医学物理学分野で国際的に活躍できる人材を養成する。
	生命医療科学 プログラム	博士課程前 期 M	生命医療科学や様々な科学領域との学際領域において、教育・研究機関で基礎的・応用的生命医療科学を推進でき、医療関係の企業等において研究開発に関わることができ、また医療施設において高い研究志向を持って医療に携わる医療人として活躍できる人材を養成する。
		博士課程後 期 D	生命医療科学や様々な科学領域との学際領域において、教育・研究機関で基礎的・応用的生命医療科学を高度に推進でき、医療関係の企業等において中心的な立場となって高度な研究開発に関わることができ、また医療施設において高い研究志向を持って高度な医療に中心的な役割を担って活躍できる人材を養成する。

学位・免許・資格取得のフローチャート



教育課程について

医学・歯学・薬学・保健学分野で行われる教育・研究は、生命に対する尊厳、医療における倫理観・責任感に裏付けられたものである必要があり、これらに関する知識と態度を身に付けるとともに、必要不可欠な理論を修得することを目的として、生命・医療倫理及び多職種連携に関する科目を全課程とも必修科目として開設しています。

また、医歯薬保健学研究科を前身とした医系科学研究科の理念に則り、次の授業科目を共通科目として設定し、各課程において幅広い知識と学識を深めることを目指しています。

【博士課程、博士課程後期】

授業科目

- 生命・医療倫理学B
- 研究方法論B
- アドバンスド生命科学コースワーク
- バイオメディカルサイエンスの創生展開
- バイオデザイン概論B
- 多職種連携B
- 臨床腫瘍学
- 放射線統合医科学
- 薬物治療学
- がん診療各論
- 死因究明学(博士課程のみ)
- Environment and Health(博士課程後期のみ)
- Research Methodology and Health System Management(博士課程後期のみ)

【博士課程前期】

授業科目

- 生命・医療倫理学A
- 研究方法論A
- スタートアップ生命科学コースワーク
- バイオデザイン概論A
- 多職種連携A
- 医学統計パッケージ演習
- 生命医療科学論
- 栄養学
- 健康生活科学
- 予防医学・健康指導特論A
- 予防医学・健康指導特論B
- Health Communication and Health Promotion
- Research Methodology in Health Science

カリキュラムの構成

専攻等		カリキュラム構成	
医歯薬学専攻	医学専門プログラム 歯学専門プログラム 薬学専門プログラム 放射線医科学専門プログラム	博士課程 D	①大学院共通科目(講義・演習) データサイエンスなど ②研究科共通科目(講義・演習) 生命・医療倫理学Bなど ③専攻共通科目(講義) 臨床腫瘍学など ④プログラム専門科目(演習) ・医学:神経生物学特別演習など ・歯学:生体材料学特別演習など ・薬学:細胞分子生物学特別演習など ・放射線医科学:分子疫学特別演習など
総合健康科学専攻	保健科学プログラム	博士課程前 M	①大学院共通科目 データリテラシーなど ②研究科共通科目 生命・医療倫理学Aなど ③専攻共通科目 予防医学・健康指導特論Aなど ④プログラム専門科目 保健科学特論I(調査研究)、 口腔健康科学特論など
		博士課程後 D	①大学院共通科目(講義・演習) データサイエンスなど ②研究科共通科目(講義・演習) 生命・医療倫理学Bなど ③専攻共通科目(講義) 臨床腫瘍学など ④プログラム専門科目(演習) ヘルスプロモーション研究法論、 口腔健康科学特講Iなど
	薬科学プログラム	博士課程前 M	①大学院共通科目 データリテラシーなど ②研究科共通科目 生命・医療倫理学Aなど ③専攻共通科目 予防医学・健康指導特論Aなど ④プログラム専門科目 薬科学特論など
		博士課程後 D	①大学院共通科目(講義・演習) データサイエンスなど ②研究科共通科目(講義・演習) 生命・医療倫理学Bなど ③専攻共通科目(講義) 臨床腫瘍学など ④プログラム専門科目(演習) 薬科学特講など
	公衆衛生学プログラム	博士課程前 M	①大学院共通科目 データリテラシーなど ②研究科共通科目 生命・医療倫理学Aなど ③専攻共通科目 予防医学・健康指導特論Aなど ④プログラム専門科目 疫学基礎論、公衆衛生学特別研究など
	医学物理士プログラム	博士課程前 M	①大学院共通科目 データリテラシーなど ②研究科共通科目 生命・医療倫理学Aなど ③専攻共通科目 予防医学・健康指導特論Aなど ④プログラム専門科目 放射線診断物理学、 口腔健康科学特論など
	生命医療科学プログラム	博士課程前 M	①大学院共通科目 データリテラシーなど ②研究科共通科目 生命・医療倫理学Aなど ③専攻共通科目 予防医学・健康指導特論Aなど ④プログラム専門科目 保健科学特論I(調査研究)、 口腔健康科学特論など
		博士課程後 D	①大学院共通科目 データサイエンスなど ②研究科共通科目 生命・医療倫理学Bなど ③専攻共通科目 臨床腫瘍学など ④プログラム専門科目 特別演習、特別研究など

“ゲノム編集”で
未来社会を拓く

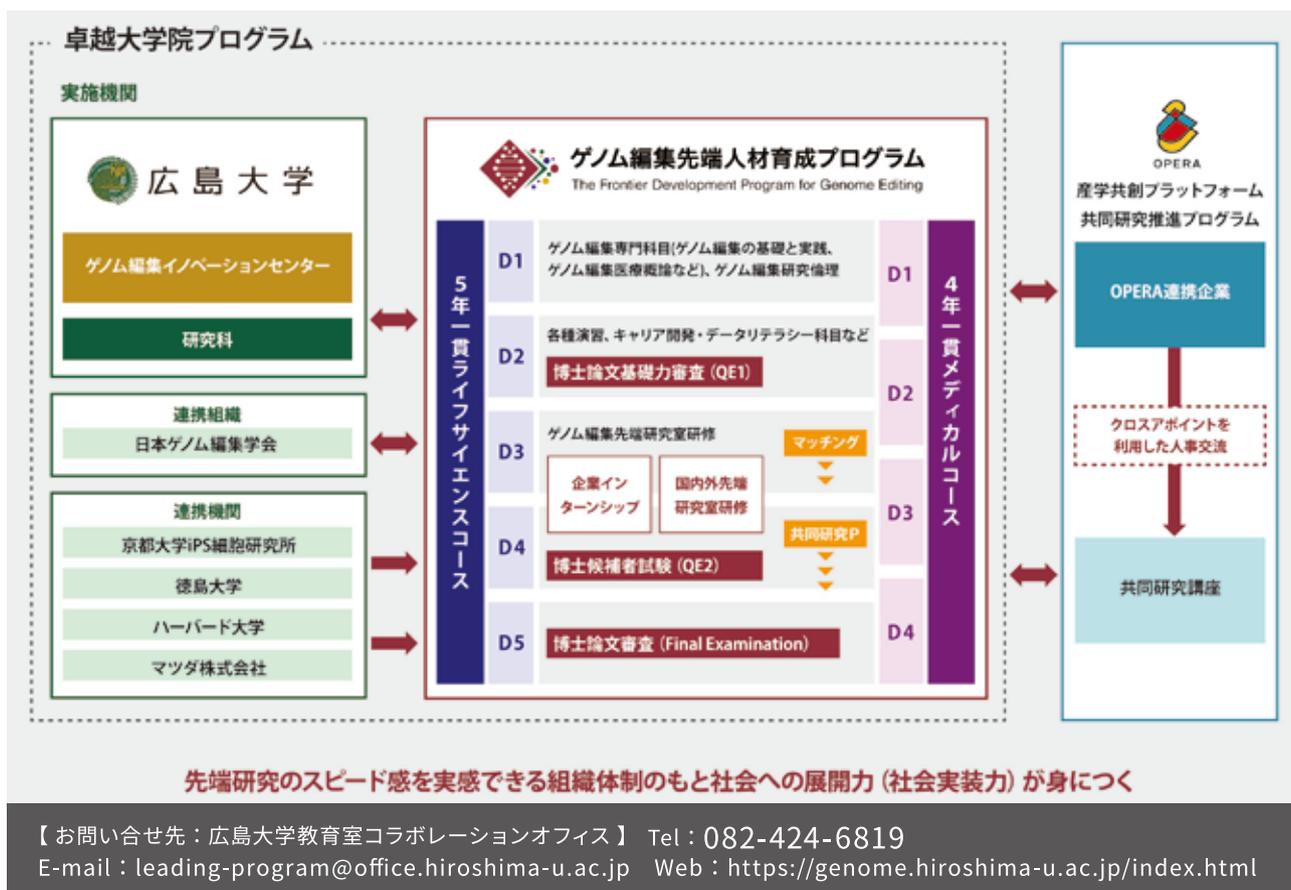
◎文部科学省「卓越大学院プログラム」2019年度採択

「ゲノム編集先端人材育成プログラム」

広島大学は、社会にイノベーションをもたらすことができる博士人材を育成することを目的に、2019年度から博士課程前期・後期を一貫した学位プログラム「ゲノム編集先端人材育成プログラム」を開設します。ゲノム編集は、人工のDNA切断酵素(ゲノム編集ツール)を利用することによって、様々な生物のゲノム情報を自在に書き換える新しいバイオテクノロジーです。基礎研究に加え、バイオ燃料の開発、品種改良、創薬などの産業利用および医療応用も目前に迫っていることから、国内に留まらず、世界に先立ったゲノム編集研究開発を倫理面に配慮して進める必要があります。

本プログラムでは、新産業創出を目指す「ライフサイエンスコース(5年一貫)」と疾患研究およびゲノム編集治療および創薬を目指す「メディカルコース(4年一貫)」の2つのコースを設置し、ゲノム編集の基礎から応用に至る知識と技術を修得することにより、ゲノム編集を使いこなせる人材・ゲノム編集を産業へ直結させる人材を育成します。

本プログラムの「メディカルコース(4年一貫)」の学生は医系科学研究科に所属し、医系科学研究科の修了要件に加えてメディカルコースとしてのカリキュラムを履修します。メディカルコースでは、1年次と2年次でゲノム編集の基礎から応用までを体系的に学んだ後に、修得した知識と技術を活用した博士論文研究を実践しつつ、国内外の連携機関での先端実習を通して、医療に関わる分野で活躍するゲノム編集先端人材を育成します。



統合生命科学研究科との連携

大学院医系科学研究科は、大学院統合生命科学研究科と強く連携し、両研究科に配属された教員で構成される分野横断型の学位プログラム(「大学院統合生命科学研究科生命医科学プログラム」、「大学院医系科学研究科生命医療科学プログラム」)を創設し、医系領域のみならず複合領域や新しい領域で活躍できる人材を養成します。

統合生命科学研究科との連携により、互いのプログラム間で研究テーマにより副指導教員を選ぶことや、遠隔授業システムにより、互いの授業を履修することが可能となります。



■ 入試日程(予定)

専攻	プログラム	選考方法	入学時期	入試実施時期	募集要項配布時期
医歯薬学専攻 【博士課程】 D	●医学専門プログラム ●歯学専門プログラム ●薬学専門プログラム ●放射線医学専門プログラム	一般選抜 社会人特別選抜 フェニックス特別選抜 外国人特別選抜	10月	8月下旬	6月上旬
			4月	8月下旬 2月上旬	6月上旬 11月上旬
総合健康科学専攻 【博士課程前期】 M	●保健科学プログラム ●薬科学プログラム ●公衆衛生学プログラム ●医学物理士プログラム ●生命医療科学プログラム	一般選抜 社会人特別選抜 フェニックス特別選抜 他分野特別選抜 外国人特別選抜	10月	8月下旬	6月上旬
			4月	8月下旬 2月上旬	6月上旬 11月上旬
総合健康科学専攻 【博士課程後期】 D	●保健科学プログラム ●薬科学プログラム ●生命医療科学プログラム	一般選抜 社会人特別選抜 フェニックス特別選抜 外国人特別選抜	10月	8月下旬	6月上旬
			4月	8月下旬 2月上旬	6月上旬 11月上旬

※学生募集要項の詳細については、医系科学研究科ホームページを参照願います。

■ 交通アクセス



【交通のご案内】

- JR「広島駅」から
 - A. 広電バス5号線「大学病院」行きで、終点「大学病院前」下車(所要時間約15分)
 - B. 広島バス26-1号線「段原・旭町」行きで、「大学病院入口」下車(所要時間約15分)
- JR「横川駅」から
 - 広島バス23号線「大学病院」行きで、終点「大学病院前」下車(所要時間約40分)
- JR「西広島駅」から
 - 広電バス10号線「大学病院・旭町方面」行きで、「大学病院前」下車(所要時間約30分)
- 広島バスセンターから
 - 紙屋町県庁前バス停まで徒歩 → 広島バス23号線で、終点「大学病院前」下車(所要時間約25分)
- 広島港から
 - 広島電鉄5番(路面電車)「広島駅」行きで「比治山橋」下車(所要時間約15分)
 - [乗り換え]
 - A. 広電バス10号線「大学病院・旭町方面」行きで、「大学病院前」下車(所要時間約9分)
 - B. 広島バス23号線「大学病院」行きで、終点「大学病院前」下車(所要時間約5分)



広島大学大学院医系科学研究科

〒734-8553 広島市南区霞一丁目2番3号
URL: <https://www.hiroshima-u.ac.jp/bhs>



■ お問い合わせ先

広島大学 霞地区運営支援部総務グループ (大学院担当)
Tel: 082-257-5012
E-mail: kasumi-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

■ 学生募集に関するお問い合わせ先

広島大学 霞地区運営支援部学生支援グループ (大学院担当)
Tel: 082-257-5051
E-Mail: kasumi-gaku-g@office.hiroshima-u.ac.jp